



環境調和型産業論分野

Environmentally-Friendly Industries for Sustainable Development

地球親和型の技術開発およびその展開

<http://enfitwww.env.kyoto-u.ac.jp/>

研究室の特徴

➔ 現場主義の調査・実験とモデル化解析による
実用的・実践的な研究

➔ 各種プロジェクトへの積極的な参加

科研費(アジア水衛生環境改善)、環境省(有機フッ素化合物類)、
環境省(外来生物対策)、科研費(マイクロプラスチック)、
科研費(スラムの下痢症リスク)

➔ 教育・研究の国際化

海外学生(ベトナム1、タイ1、中国2、マレーシア1、タンザニア1、ミャンマー1)

学生の海外インターン(ベトナム、タイ、バングラ、ネパール、アメリカ、ケニア他)

各種海外プロジェクト(JSPS、イノベータ、JGP)

海外拠点・協力大学(ベトナム・ハノイ理工科大学、タイ・マヒドン大、ベトナム・ダナン理工科大、ベトナム・フエ科学大学、バングラ・クルナ大学ほか)



Research Topics

微量汚染物質（有機フッ素化合物等）

前駆体を含めた包括的管理方法の開発（LC-MS/MS、GC-MS/MS、AOX、TOF-MS）
処理法（物理（膜分離・吸着）、酸化（AOP、UV他））の検討
アジアメガシティの水環境中の動態解析とマイクロプラスチック調査

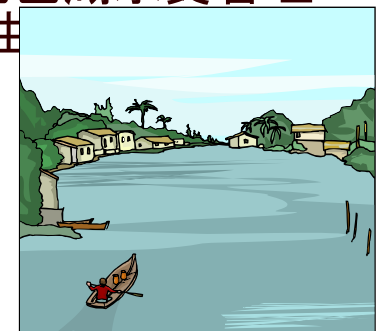


流域管理

国内および海外における抽水植物群落およびマングローブ林の保全再生、
GPS植生調査、空撮、環境DNA分析の展開によるアジア重要湿地の植物多様性評
価、
衛星データを活用した流域管理分布型水質水量モデルの開発、琵琶湖水質管理
データベースシステムの開発、遺伝子マーカーを使った河川汚濁由

途上国衛生環境改善

途上国の下水管理の実態把握とその改善シナリオ作成
スラム下痢症リスク解析、病原性微生物の由来解析、
適正技術型トイレ開発・評価、N・P循環および汚濁負荷解析





Member & After Graduation

⇒ 教員 4名

教授	藤井 滋穂
准教授	田中 周平
助教	原田 英典

⇒ 教務補佐員・技術補佐員 2名

⇒ 学生 22+?名 (2018年4月現在)

研修員	1名	(学舎)
博士課程	D3: 1名	(総合生存学館)
	D2: 2名	(学舎, 工・都市環境工学専攻)
	D1: 2名	(学舎, 工・都市環境工学専攻)
修士課程	M2: 5名	M1: 5名 (学舎)
	M2: 3名	M1: 2名 (工・都市環境工学専攻)
学部	4年: ?名	(工・地球工学科環境工学コース)
特別聴講生:	1名	(学舎)

－卒修生の最近の進路－

⇒ 2017年度

学舎博士課程, ヴェオリア・ジェ
ネッツ, 日立造船, 日立製作所,
みずほ情報総研

⇒ 2016年度

学舎博士課程, 日立造船, 三菱
日立パワーシステムズ, マルハ
ン, JICA

⇒ 2015年度

環境省, みずほ情報総研, 三菱
UFJ R&C, クボタ, TSP, 建設技研
インター, 月島機械

⇒ 2014年度

鹿島, クボタ, 積水化学, 日本工営,
日本触媒, 日水コン, Delft大大学院